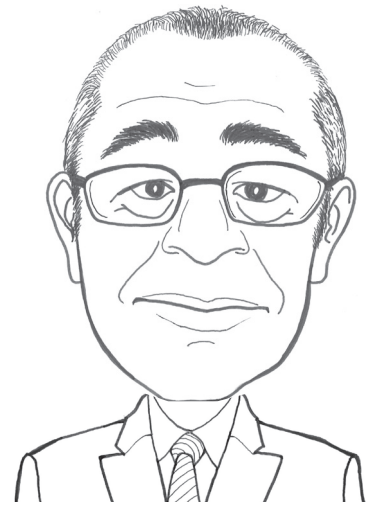


事務事業の見直しについて

町長 財政状況の悪化を二度と招かないよう、
行財政運営に努めてまいりたい



西山 輝和 議員

問

本町は、かつて財政状況の悪化から「行財政健全化実行プラン」により、集中と選択による事務事業の見直しや各種補助金・人件費の削減等を行い、効率的な行財政運営に取り組み、行政サービスの質を高めながら経費削減をはかってきた歴史があるが、今後の更なる少子高齢化社会による社会保障経費や40年以上経過した公共施設などの維持経費の増大、大型建設事業がひかえている中で抜本的に事務事業の見直しを図るべきと考えるがいかがか。
また、人件費や公債費

等、誰が町長をやったとしても増加する経費があると思うが、それらの試算はできているか。
人口減少が進む中、限られた財源の中で、今後、どのような行財政運営を考えているか伺う。

町長

現在は、総合計画の目標達成に向けて、健全な財政運営に努めているところであるが、令和6年度において人件費は当初予算比で約6500万円の増、物件費は令和5年度決算比で約3350万円、維持補修費で約750万円の増、令和7年度は更に物件費で約2750万円、維持補修費で約620万円程度の増になると推計している。
今後予定される体育館の建設事業においては、令和5年3月の基本設計では23億9千万円であったが、現在では約27億円となる見通しである。

特別職の報酬改定について

町長 報酬の引き上げについては
考えていない

人口減少、少子高齢化を意識しながら、子育て支援や教育振興、清水町の魅力発信等に取り組んできたが、時代にあわせて事務事業や機構など行政の在り方も見直す必要があると考えている。
新年度は、第6期総合計画の後期5か年計画をお示しし、過去に経験した財政状況の悪化を二度と招かないよう、行財政運営に努めてまいりたいと思っている。

問

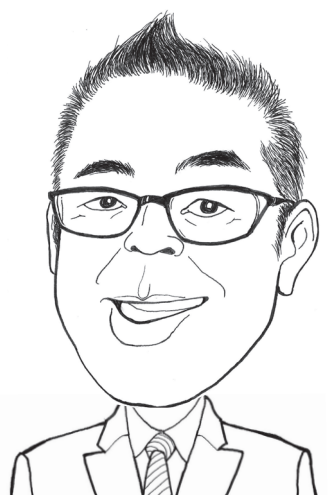
特別職においては、平成17年を最後に改定しておらず、管内の他の町村と比較しても下位にある。
町長自身は、報酬を抑え一生懸命働くことで評価が上がると思われるが、それに伴い他の特別職等においても改定しにくい状況があると考えている。
同程度の自治体を参考にしながら人口規模によって報酬を見直すべきと思うが、町長の考えや実現の可能性、スケジュール等について伺う。

町長

特別職等の報酬については、平成14年に「行財政改革推進計画」を策定し、当時の財政状況等を勘案して改定している。その後、特別職において

は平成17年度から現在まで、議員においては平成20年度から現在まで報酬の引き上げは行っていないので、本町の報酬水準は管内の町村において下位に位置していると認識している。

特別職等の報酬については、清水町特別職報酬等審議会へ諮問し、その職責や地域の経済情勢、職員の給与改定並びに近隣町村の状況等を参考に答申がなされる仕組みであり、適切な時期に特別職報酬等審議会において意見をいただく機会を持つことは必要と思うが、私としては現時点において報酬の引き上げについては考えていない。しかし、時代にあわせて様々なことを見直していく時期にきているのも事実であるので、皆さま方の意見を頂戴しながら今後どのような形が本町にとって適当なのかを考えていきたい。



川上 均 議員

タクシー券の利用事業者拡大の考えについて問う

町長 混雑時の解消にはつながらないことから、町外事業者の助成券利用を可能とする考えはない

問 町では、高齢者等にタクシー乗車券助成事業を実施しているが、必要な時にタクシーが来てくれない、買物銀行バスも前日予約でそれ以外は利用できずに不便との声を聞く。町民が必要な時に速やかにタクシーを利用出来るよう、町外事業者もタクシー券を使えるよう対応できないか。また、利用制限のある買物銀行バスや町外への部活バスも、町内タクシー事業者へ一括委託すれば諸課題は改善されると思うが、それについて問う。

投票所の再編及び投票困難者への投票車導入について問う

町長 他市町村の取り組み状況をみながら検討していく

町長 平日の午前9時前後と午後4時前後は、保育所のタクシー送迎等で運転手がいなくなる場合があるが、30分から1時間待たしてもらえば来てくれる。急病の場合は救急車を呼ぶことも選択肢として必要。全国的にタクシー不足と事業者営業区域の規制もあり、町外事業者の助成券利用を可能とすることが、混雑時の解消にはつながらないことからその考えはない。

町長 投票所の再編は地域の理解も必要で、今後は長期的に見た投票所の在り方を含めて検討していく。移動期日前投票車の導入は、立会人や事務従事者の確保も必要となり、他の部署の協力も必要といと実施は困難と考える。引き続き他市町村の

問 車社会の発達と少子高齢化など時代の流れの中で、有権者数の減少や期日前投票の定着、そして投票立会人の確保などから、今後投票所の再編が必要と思われる。一方で、自力での移動が困難で、公共交通機関の利用が難しい人が今後増えていくこれらの課題にどう対処するか問う。

(1) 現在ある14投票所の再編

(2) 投票困難者が自宅前で投票できる移動期日前投票車の導入

新体育館建設に向けた検討状況と財源内訳について考えを問う

町長 現在の建設計画は見直していくため、大規模改修については考えていない

取り組み状況を見ながら、投票所の再編と合わせて検討していく。

問 新体育館建設は前回の質問で、町長はもう一度立ち止まって考え、令和6年度に向けて皆の意見を聞きながら進めていくと答弁があった。そこで、新年度に向けた考えを問う。

(1) 町民意見をどのように聞いてどう検討しどう判断したか

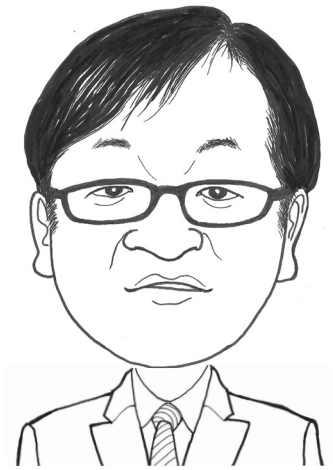
(2) 建設費高騰の中で具体的な財源内訳と町財政への影響

(3) 現体育館と農業研修会館を大規模改修し活用する考え

町長 町民意見聴取は、まちづくり懇談会、町内各団体、各地域から多くの意見をもらっている。財源内訳は、事業費が現在27億円となる見通しで、過疎対策事業債11億3千万円、学校施設改善交付金1億6千万円、自主財源14億円以上が必要。起債と交付金は国や道の予算に左右されるため予断できない状況にある。現在の新体育館建設計画は大きく見直していくため、現体育館と農業研修会館の大規模改修については考えていない。

これまでの議会における提案の状況について

町長 管内自治体の動向等を精査して検討を続けたい



鈴木 孝寿 議員

問

高齢者等のエア
コン設置・带状疱疹ワクチン接種・補聴器購入それぞれの補助について議会内で質問をしてきたが、現在の制度化に向けた進捗状況を伺う。併せて、合同墓の設置の考え方について伺う。

町長

エアコン設置及び带状疱疹ワクチン・補聴器購入のそれぞれの補助については管内自治体の動向等を精査して検討を続けたい。また、合同墓についても検討・研究をしたい。

問

事業化に向けた制度設計等もしていないということか。

町長

今は検討しているところである。

渋沢栄一翁の事業に関する考え方について

町長 各自治体等と連携して交流を進めたい

問

埼玉県深谷市や東京観光を含めた町民ツアーも本年実施したが、今後の事業展開をお聞きする。また、任期8年に渡り渋沢栄一翁事業に費やした金額について伺う。

町長

渋沢栄一翁に関する事業としては、埼玉県深谷市・東京都北区をはじめ、関係する各自治体等と連携して交流を進めたい。また、これら事業に関わる金額は1000万程度と確認している。

問

実施する時期は渋沢栄一翁の命日を基本としているが、わざわざ行くより、熊牛の地において実施する方法もある。事業の組立について再検討が必要と思われる。また、金額の中には出張旅費が入っていない。また、外郭団体の出張旅費や事業費は含まれていない。現実的には倍では済まない金額だと指摘する。

町長

今後事業を考える際の参考とさせていただきたい。

各事業者撤退による今後のまちづくりの考え方について

町長 人口の減少率から見ると、清水町は頑張っていると自負している



問

2銀行・2スーパー・1病院の撤退・廃業があり他町村と比べても残念な結果が多い。町民生活が苦しくなる状況が目立つ。時代が悪いか、それとも町政の考え方が現状にマッチしないのか、考えを伺う。

町長

人口の減少率から見ると、清水町は頑張っていると自負している。総合計画の予想数値よりは人口が下がってしまったているが、近隣の新得町・鹿追町と比較しても、減少率は悪い方ではない。